



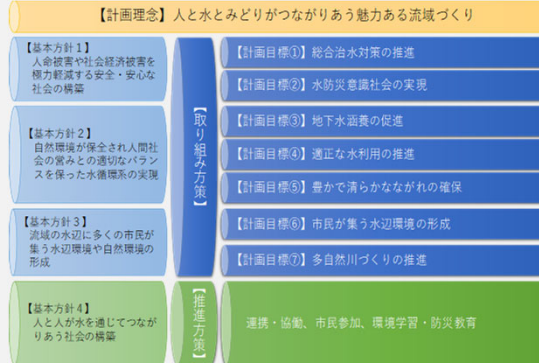
## 新河岸川流域水循環アクションプランとは？

新河岸川流域水循環マスタープランで設定した計画理念を実現するため、市民、行政の具体的な各種施策等を定めた実行計画です。アクションプランでは行政（国、都県、市区町）や市民団体等の各実施主体がそれぞれ『だれが、なにを目標に、いつごろまでに、なにをする』を可能な限り記載しています。



## 新河岸川流域水循環マスタープラン

流域を中心とした一連の水の流れの過程において、水に係わる総合的な整備・保全・管理を目指すため、河川環境のみならず、都市環境などの地域特性を踏まえた水循環系の健全化に関する総合的な計画です。



## アクションプランの基本方針

### 取り組み主体

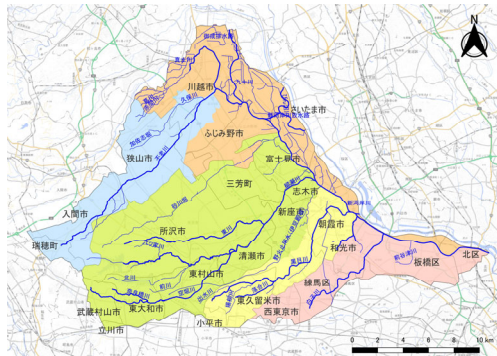
行政機関、市民及び市民団体、企業をはじめとする流域のあらゆる関係者です。



### 検討単位

以下の6ブロックで検討しています。

- 新河岸川流域全体
- 新河岸川本川ブロック
- 不老川ブロック
- 柳瀬川・砂川堀ブロック
- 黒目川ブロック
- 白子川ブロック



背景出典：国土地理院発行淡色地図タイル

### アクションプランの目標期限

アクションプランの目標期限は“概ね5年”です。

### 取り組みの記載方法

- アクションプランの目標達成に向けて、実施する取り組みを可能な限り具体的に記載しました。行政機関や市民団体へアンケートや聞き取り調査を行い、取り組みを整理しました。
- 加えて、取り組みの連携状況及び実施段階も整理しています。

## アクションプランで定めたアクション（取り組み）

アクションは、現状を踏まえた、概ね5年で実施する取り組みと今後の取り組みをブロック別、取り組み主体別に整理しました。

期間

- ① 概ね5年で実施する取り組み
- ② 今後の取り組み



実施主体(連携・協働で取り組む)

- ・市民が主体となる取り組み
- ・行政が主体となる取り組み



（市民と行政の連携・協働の一例）  
市民や事業者等と行政との協働で、きよせの環境・川まつりを開催します。

きよせの環境・川まつり



（市民と行政の連携・協働の一例）  
清掃活動等、市民団体や企業、行政との協働を推進します。

協働による清掃美化活動



（市民が主体となる取り組みの一例）  
個人宅において、雨水浸透ますの設置や宅地内貯留をおこない、その普及に努めます。

雨水流出抑制施設

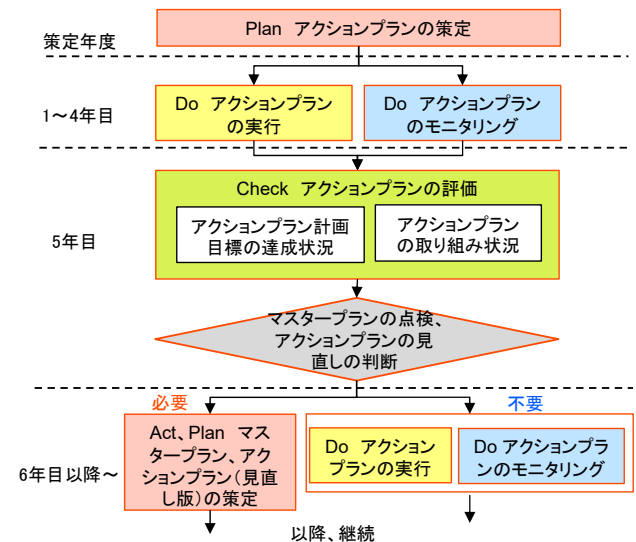


（行政が主体となる取り組みの一例）  
最新の水防法に基づき更新したハザードマップを全世帯に配布し、市報(町報)及びHP等により周知します。

ハザードマップ

## フォローアップ

マスタープラン及びアクションプランの推進にあたっては、社会情勢の変化にも柔軟に対応できるように、計画・実行・モニタリング・分析を継続的に、必要に応じてアクションプランの更新などのフォローアップを行っていきます。



## アクションプラン計画目標

マスタープランの基本方針及び計画目標に基づいて、効果が目にみえるような身近な目標、取り組みやすい目標(アクションプラン計画目標)を設定しました。アクションプラン計画目標は以下のとおりです。

マスタープラン基本方針	マスタープラン計画目標	アクションプラン計画目標
1. 人命被害や社会経済被害を極力軽減する安全・安心な社会の構築	①総合治水対策の推進	雨水貯留・浸透施設の普及 自然地の質の向上 河道内樹木の適正管理 内水氾濫の軽減 流出抑制意識の啓発 水防災意識の啓発 土地利用の規制、誘導(宅地造成の抑制等) 緑地・農地の保全、自然地の質の向上 防災調節池の整備 下水道対策(貯留管の整備等)の推進 流域一帯となった内水対策(内水排除ポンプの整備等) 超過洪水(気候変動による大雨)への適応策 河川、水路の改修 堆積土砂・ヘドロ等の浚渫、抑制
	②水防災意識社会の実現	洪水時の安全な避難確保 流域一帯となった防災訓練、水防訓練、水災に対する危機管理訓練 ハザードマップの作成・周知・見直し 情報収集・連絡体制の整備 住民等の行動につながるリスク情報の周知 避難行動を促すためのリアルタイム情報の提供やプッシュ型情報の発信体制構築(水位計の設置等を含む) 事前の行動計画(タイムライン等)の周知、作成 水害時の避難経路の整備 災害用井戸の指定・活用 防災教育・河川環境教育 河川施設の役割について地域住民の理解を深める活動 災害拠点病院・大規模工場等へ浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動 自主防災組織の活性化および防災リーダーの養成 堤防復旧、排水活動の各種計画策定
2. 自然環境が保全され人間社会の営みとの適切なバランスを保つ水循環の実現	③地下水涵養の促進	自然地の質の向上 地下水の保持 雨水の利用促進(生活用水、環境用水など)
	④適正な水利用の推進	湧水の保全 瀬切れ対策の検討 自然挙動の調査研究 節水の推進・意識啓発
	⑤豊かで清らかながれの確保	河川流量の確保・水質の保全 緑地・農地(水田、畑)の保全(緑地の公有地化等)、自然地の質の向上(森林の手入れ等) 沿川の水田の保全、営農支援 公園の整備 雨水浸透施設の普及 地下水の保全と管理(モニタリング)、地下水揚水の適正化 下水道整備の推進、高度処理の導入 老朽化した下水道管の更新 合併処理浄化槽の推進 工場排水の規制、監視の強化(企業の環境活動の推進) 生活排水対策の推進(浄化槽の維持管理の啓発・補助など) 農地での施肥の適正化

マスタープラン基本方針	マスタープラン計画目標	アクションプラン計画目標
3. 流域の水辺に多くの市民が集う水辺環境や自然環境の形成	⑥市民が集う水辺環境の形成	河川を中心とした景観形成
		川を活かしたまちづくり
		市民・市町村・河川管理者が一体となつての川沿いのまちづくり
		水と緑のまちづくりの方針
		新しい親しめる水辺環境の創造
		樹木、花々の植栽
		桜並木の維持・整備
		河川沿いの道路の活用
		水辺へのアクセス整備
		矢板護岸・不法占有の対策
	⑦多自然川づくりの推進	河川流量の確保・水質の保全
		池の水質の保全
		河畔林の保全
		河畔林や河道の瀬・淵・湾曲などの保全・創出
4. 人と人が水を通じてつながりあう社会の構築	⑧連携・協働、市民参加、環境学習・防災教育	希少種・固有種の保護
		生物多様性の保全
		生きものの生息・生育環境に配慮した河川整備
		川への関心向上
		イベントの開催
		環境学習施設の設置
		河川環境教育の推進
		水害を想定した避難訓練の推進、実施、防災教育
		流域の人と自然資源との関わりの健全化
		水辺の清掃活動の実施
		水循環・水環境の状態に関するデータ・情報の公開
		水循環・水環境に関する意識の醸成
		水循環・河川整備の認知向上
		市民・市民団体・企業と行政との連携・協働

## 新河岸川流域水循環アクションマップ

アクション（取り組み）の位置をマップで表現し、WebGISアプリケーションを活用して情報を公開しています。

